第 17 回報告書 2023 年 7 月 28 日

ElasticSearch サーバーの CO₂ データの移行について

祖父江匠真

1 概要

今回は、133.71.201.197 から 133.71.106.141 への ElasticSearch サーバー間の CO_2 データの移行後に発生したラズベリーパイからデータのインサートが出来ない問題への対応と、移行元 ElasticSearch サーバーから移行されていない CO_2 データの移行について報告する.

2 ラズベリーパイからデータのインサートが出来ない問題について

私が実装したデータ移行プログラムを使用して作成した Elastic Search のインデックスに対してラズベリーパイからデータのインサートが出来ない問題が発生した。そこで、インデックスの作成を私のデータ移行プログラム上からではなく、高木君側で行ってもらい、ラズベリーパイから正常にデータのインサートが出来ていることを確認した上で、私が実装したデータ移行プログラムを使用して CO₂ データの移行を行うことで問題を解決した。

3 移行元 ElasticSearch サーバーから移行されていない CO2 データの移行について

移行方法は以下のとおりである.

1. まず, 2023 年 5 月中旬に移行した際の全移行データの中で最も最新の utctime フィールドの値を検索する.

- 2. 次に,移行先 ElasticSearch サーバーに対してラズベリーパイからインサート された全データの中で最も古い utctime フィールドの値を検索する.
- 3. elasticdump [1] ライブラリを使用して, 2023 年 5 月 1 日 0 時 0 分 0 秒以降の utctime を持つドキュメントを, 移行元 ElasticSearch サーバーのインデックス 名に co2 という文字列を含むインデックスからローカルマシンにエクスポートする.
- 4. 部屋番号 (number) とタイムスタンプ (JPtime) の組み合わせがユニークに なるようにエクスポートしたデータをフィルタリングする.
- 5. 更に, $1 \ge 2$ で得られた utctime の範囲に含まれる utctime を持つドキュメントのみになるようフィルタリングする.
- 6. フィルタリング後のデータを移行先 Elastic Search サーバーにバルクインサートする.

4 kibana によるデータの可視化

2023年5月中旬から2023年7月中旬までの間の約2ヶ月間の CO_2 データを移行した後のco2_modbusインデックスについて、横軸をタイムスタンプ(utctime)とし、縦軸をPPM、RH、TEMPとしてそれぞれプロットしたものを図1~図3に示す.

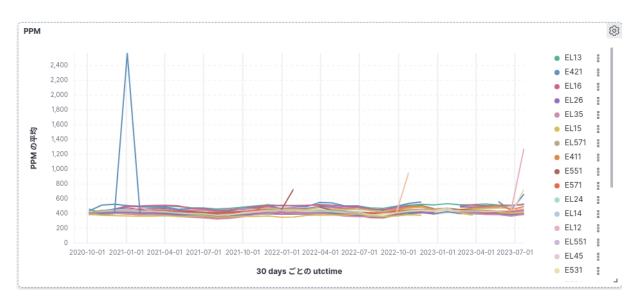


図 1: co2_modbus の PPM

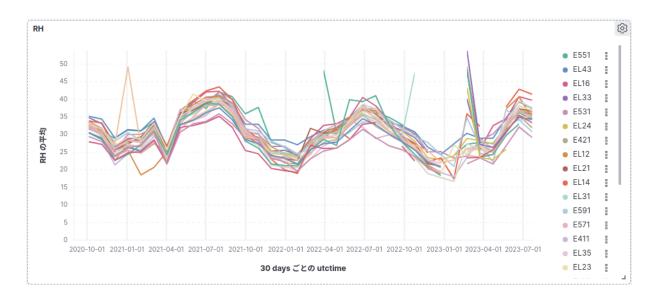


図 2: co2_modbus の RH

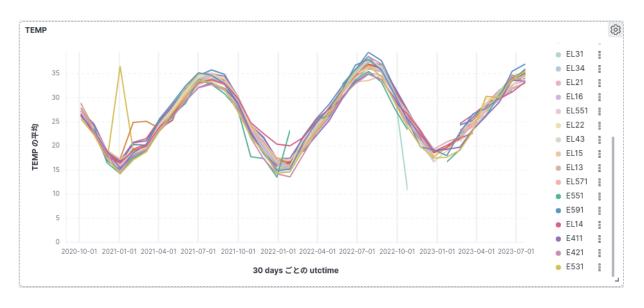


図 3: co2_modbus の TEMP

今回,追加で CO_2 データを移行した 2023 年 5 月中旬から 2023 年 7 月中旬までの期間において,図 1 ~ 図 3より,連続的にデータが変化していることが目視で確認できるので,データ移行は正常に出来たと判断できる.

5 まとめ

今回は、133.71.201.197 から 133.71.106.141 への ElasticSearch サーバー間の CO_2 データの移行後に発生したラズベリーパイからデータのインサートが出来ない問題を解決したことと、移行元 ElasticSearch サーバーから移行されていない CO_2 データの移行を行い、kibana を使ってデータ移行が正常に出来たことを報告した.

次回は、133.71.201.197 の ElasticSearch サーバーにある pcs_recyclekan という名前のインデックス以外のインデックスについて調査を行い、必要であればデータ移行を行う.

参考文献

[1] Ferron H, "ElasticDump ", https://github.com/elasticsearch-dump/elasticsearch-dump, 参照 June 19,2023.